

水道事業会計 集中改革プラン

平成18年2月

藤井寺市水道局

1. はじめに

本市の水道事業は、旧道明寺町が現在の道明寺浄水場の用地を昭和 27 年に買収し、昭和 28 年 2 月より水源としての浅井戸 1 基、配水ポンプ施設、配水管布設工事に着手し、昭和 28 年 12 月に道明寺町へ一部給水を開始したのが始まりです。

本市水道の供給形態は、道明寺浄水場を基幹施設として、船橋浄水場、野中配水場 及び野中配水場 を遠隔操作によるポンプ圧送方式により給水区域内の需要者 67,500 人(平成 16 年度末)に供給を行なっております。その水源としましては、石川水系を水源とした道明寺浄水場(府営水と混合)及び船橋浄水場の自己水と、府営水を主体とした野中配水場 及び野中配水場 からなっております。これらの施設につきましては、人口の急増等により、水道水の供給が急務な時代の昭和 40 年代から昭和 50 年代前半に築造された施設で老朽化が進行しており、市民生活に欠かせない水道水の安定供給を堅持していく上からも、水道水を各家庭まで届けております配水管も含め、順次更新をしていかなければならない時期を迎えてきております。

また、財政面におきましてもバブル経済崩壊後の景気後退と時期を同じくして、水需要の右肩あがり傾向が止まり、更にその後の生活環境や社会環境の変化、給水人口の緩やかな減少、節水器具等の普及により水需要は年々減少傾向を示しております。このような厳しい状況を踏まえ、健全な経営を進めて行く上からも国から示された「地方公共団体における行政改革の推進のための新たな指針」(平成 17 年 3 月 29 日付け総務事務次官通知)に基づき、水道局においても平成 17 年度～平成 21 年度を計画期間とする集中改革プランを策定し、水道事業経営の健全化に向けた取り組みを行うものとします。

なお、本プランにつきましては、PDCA のサイクルで見直しを行い、更なる経営改革の推進に努めてまいります。

2. これまでの経営改革の取り組み

水需要の減少に起因する給水収益の落ち込みや、水道施設の維持に係る経費の増加などにより事業経営が年々厳しさを増してきたなか、下記事項について順次取り組んでまいりました。

(1)平成11年度から平成16年度までの取り組み

計 375,130 千円

未利用財産の売却

NO	担当課	取組項目	取組内容	実施年度	効果額(千円)						
					平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	合計
1	庶務課	未利用財産の売却	未利用土地(井戸用地)の売却により収入の増を図った	H16						3,000	3,000
この項目の小計										3,000	3,000

組織及び体制の見直し

NO	担当課	取組項目	取組内容	実施年度	効果額(千円)							
					平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	合計	
1	庶務課	組織及び体制の見直し	機構改革を行ない4課を3課に再編成することにより、人材の流動化を図り効率的な組織体制とした。	H12		-	-	-	-	-	-	-
この項目の小計						-	-	-	-	-	-	-

効果額については、「定員管理の適正化」に計上しているため「-」としている。

定員管理の適正化

NO	担当課	取組項目	取組内容	実施年度	効果額(千円)						
					平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	合計
1	庶務課	定員管理の適正化	平成12年度の機構改革により2名の削減、平成14年度中途退職者の不補充及び定員管理の見直しにより、平成15年度4名の削減、平成16年度1名の削減を行なった。	H12～H16		19,888	19,888	24,163	58,038	65,412	187,389
この項目の小計						19,888	19,888	24,163	58,038	65,412	187,389

給与の適正化

NO	担当課	取組項目	取組内容	実施年度	効果額(千円)						
					平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	合計
1	庶務課	給与の適正化	人事院の勧告に準じ給与の適正化に努めた。また、平成17年1月より職員給与の3%削減を実施した。	H11～H16	5,467	6,756	7,607	15,547	23,406	24,814	83,597
2			退職手当の調整率について、平成15年度には従来の110/100から107/100に引き下げ、平成16年度には更に、104/100に引き下げた。	H15・H16					1,582	7,588	9,170
3			平成16年度に、特別職(管理者)の給料(月額)について、20,000円を削減した。	H16						240	240
4			平成15年度に、特別職(管理者)の退職手当支給率の見直しを行い、経費の縮減を図った。	H15						1,752	1,752
この項目の小計					5,467	6,756	7,607	15,547	24,988	34,394	94,759

民間委託事業の見直し

NO	担当課	取組項目	取組内容	実施年度	効果額(千円)						
					平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	合計
1	施設課	民間委託事業の見直し	修繕委託業務の見直しにより、経費の縮減を図った。	H11～H16	2,200	4,400	4,400	4,400	5,600	6,404	27,404
2	業務課		検針委託業務の見直しにより、経費の縮減を図った。	H11	3,708	3,708	3,708	3,708	3,708	3,708	22,248
この項目の小計					5,908	8,108	8,108	8,108	9,308	10,112	49,652

施設維持経費等の見直し

NO	担当課	取組項目	取組内容	実施年度	効果額(千円)						
					平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	合計
1	施設課	施設維持経費等の見直し	船橋浄水場総合管理業務委託の見直しを行ない、経費の縮減を図った。	H11～H15	480	816	816	4,968	10,124	10,124	27,328
			道明寺浄水場中央監視装置及び各浄配水場計測機器保守点検業務の見直しにより、経費の縮減を図った。	H11	160	360	360	360	360	360	1,960
この項目の小計					640	1,176	1,176	5,328	10,484	10,484	29,288

事務事業の見直し

NO	担当課	取組項目	取組内容	実施年度	効果額(千円)						
					平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	合計
1	業務課	事務事業の見直し	上・下水道料金管理システムの再構築において、前システムの再利用により、経費の縮減を図った。	H15					4,593	4,593	9,186
この項目の小計									4,593	4,593	9,186

その他

NO	担当課	取組項目	取組内容	実施年度	効果額(千円)						
					平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	合計
1	施設課	その他	各浄配水場の高圧電力の使用について、電力消費の実情に合った契約への見直しにより、経費の縮減を図った。	H13			464	464	464	464	1,856
この項目の小計							464	464	464	464	1,856

(2)財政効果額(平成11年度～平成16年度)

(単位:千円)

項 目		年 度						合 計
		平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	
歳入	未利用財産の売却						3,000	3,000
	組織及び体制の見直し							
歳出	定員管理の適正化		19,888	19,888	24,163	58,038	65,412	187,389
	給与の適正化	5,467	6,756	7,607	15,547	24,988	34,394	94,759
	民間委託事業の見直し	5,908	8,108	8,108	8,108	9,308	10,112	49,652
	施設維持経費等の見直し	640	1,176	1,176	5,328	10,484	10,484	29,288
	事務事業の見直し					4,593	4,593	9,186
	その他			464	464	464	464	1,856
	計	12,015	35,928	37,243	53,610	107,875	125,459	372,130
財政効果額計		12,015	35,928	37,243	53,610	107,875	128,459	375,130

3. 集中改革プラン

生活環境や社会環境の変化、少子化等に起因する給水人口の緩やかな減少などにより、水需要の減少が今後においても予測されるなか、最少の経費で最大の効果を上げることを目的として、機構改革により組織のスリム化を図ると共に、事務事業の見直しにより民間活力の導入を図り、市民サービスの充実と向上及び水道事業の効率化を推進するものとします。また、水道は市民生活をささえる基幹的、かつ、重要なライフラインであることから、災害等により水道が停止した場合の影響は甚大であるため、水道施設の更新及び整備に順次取り組んで行くものとします。

今後における水道施設の更新を含め効率的な経営を図るため、機構改革による組織のスリム化、事務事業の見直しによって民間経営手法や活力の導入を図ることにより、市民サービスの充実、向上並びに効率化及び活性化、定員管理の見直し、浄水施設の有効活用(自己水)による経費削減等を重点項目として下記事項について取り組んで行くものとします。なお、水道の安全性及び安定供給を維持していくには、施設整備等が必要であります。一義的には定数削減や人件費の抑制、民間委託の推進をはじめ最大限の内部経費の縮減に取り組みを行なった上で、近隣市町村の動向をも踏まえ水道料金の適正化も検討してまいります。

(1)平成17年度から平成21年度までの取り組み

計 361,697 千円

組織及び体制の見直し

NO	担当課	取組項目	取組内容	実施年度	効果額(千円)					
					平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	合計
1	庶務課	組織及び体制の見直し	機構改革を行ない3課を2課に再編成することにより、人材の流動化を図り効率的な組織体制とする。	H18	-	-	-	-	-	-
この項目の小計					-	-	-	-	-	-

効果額については、「定員管理の適正化」に計上しているため「-」としている。

定員管理の適正化

NO	担当課	取組項目	取組内容	実施年度	効果額(千円)					
					平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	合計
1	庶務課	定員管理の適正化	事務の効率的な運営と民間委託の推進を図ることにより、平成22年4月1日における職員定数の目標を23名とし順次取り組む。	H17～	43,244	60,541	69,190	77,839	86,488	337,302
この項目の小計					43,244	60,541	69,190	77,839	86,488	337,302

効果額については、市職員の「給与の適正化」による給与カット後の平均給与に定員削減数を乗じて算出した。

民間委託等の推進

NO	担当課	取組項目	取組内容	実施年度	効果額(千円)					
					平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	合計
1	施設課	民間委託等の推進	水質検査室への派遣職員2名の内1名を委託し、経費の縮減を図る。	H17	2,888	2,888	2,888	2,888	2,888	14,440
2	業務課		業務部門における・開閉栓業務・料金収納処理業務・検針業務等の委託化により、市民サービスの向上と経費の縮減を図る。	H18		-	-	-	-	-
3	施設課		浄・配水場運転操作部門の段階的な民間活力の活用により、経費の縮減を図る。	H19			-	-	-	-
この項目の小計					2,888	2,888	2,888	2,888	2,888	14,440

「民間委託等の推進」に要する経費について、現時点では未確定のため当該委託事業の実施年度において確定した段階で「定員管理の適正化」の効果額から控除する。このため効果額については、「-」としている。

給与の適正化

NO	担当課	取組項目	取組内容	実施年度	効果額(千円)					
					平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	合計
1	庶務課	給与の適正化	一般会計職員の給与の適正化等に合わせ見直しを行なう。	H18		-	-	-	-	-
この項目の小計						-	-	-	-	-

効果額の「-」については、取り組みの後、各年の見直しを実施する際に記載する。

その他

NO	担当課	取組項目	取組内容	実施年度	効果額(千円)					
					平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	合計
1	施設課	その他	修繕委託業務の見直しにより、経費の縮減を図る。	H17	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	9,955
この項目の小計					1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	9,955

(2)財政効果額(平成17年度～平成21年度)

(単位:千円)

年 度		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	合 計
歳 出	組 織 及 び 体 制 の 見 直 し						
	定 員 管 理 の 適 正 化	43,244	60,541	69,190	77,839	86,488	337,302
	民 間 委 託 等 の 推 進	2,888	2,888	2,888	2,888	2,888	14,440
	給 与 の 適 正 化						
	そ の 他	1,991	1,991	1,991	1,991	1,991	9,955
	計	48,123	65,420	74,069	82,718	91,367	361,697